

広報



ぐじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場広報課編集

電話 (01885) ② 代 2100 番

印刷所 湖 東 印 刷 所

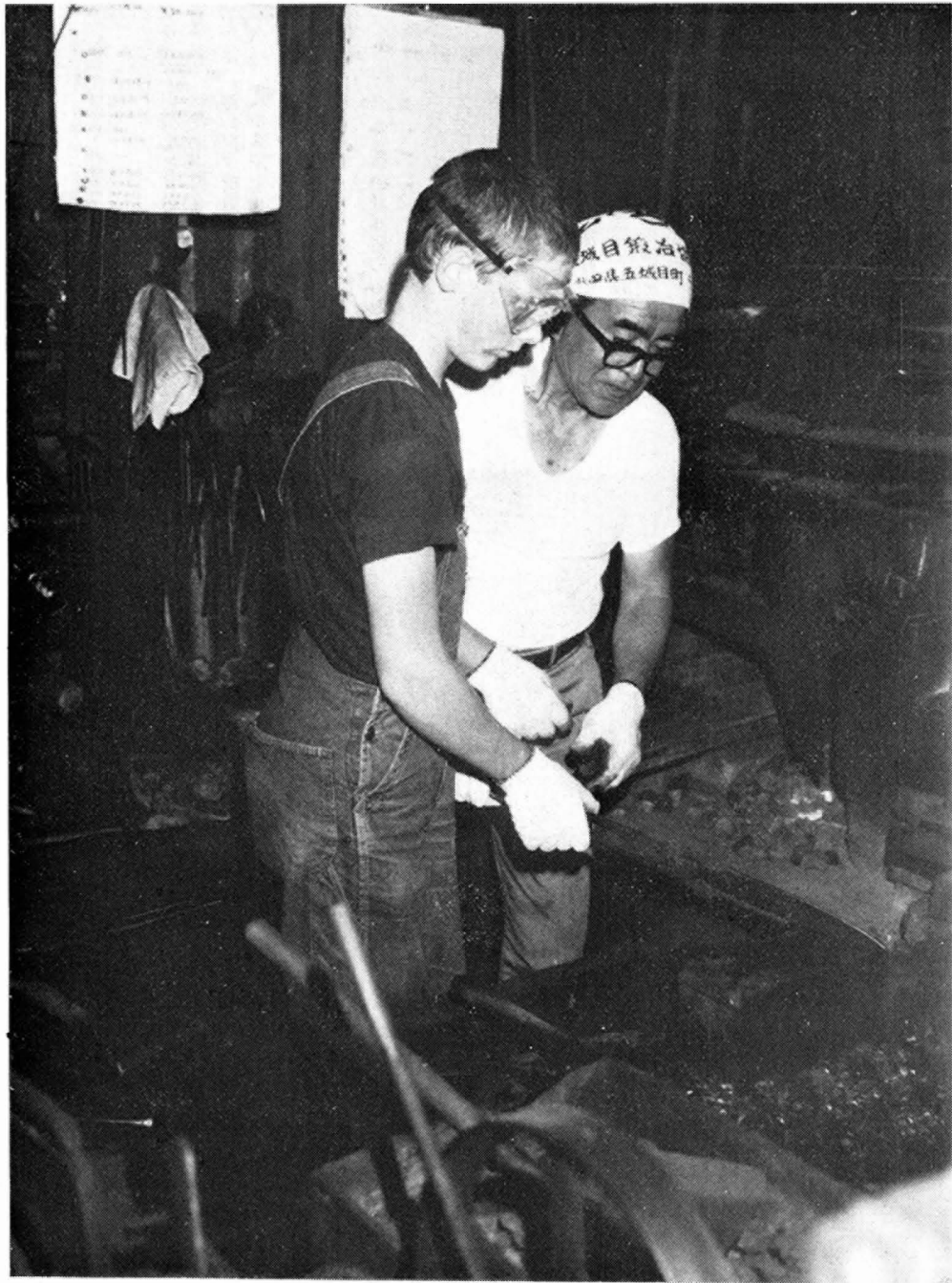
電話 (01885) ② 2430 番

一部 5 円 郵便番号 018-17

毎月 1 日・15 日発行

鍛冶の匠たくみとアメリカ少年

— ほのぼの国際親善 —



言葉の障害のり越えて日本の鍛冶を学ぶティム君

(広報細中にある写真を欲しい方には)
おあげします

外国少年に見初められ

中川原の児玉金蔵(六五)さんで、鍛冶修業中であつたティム・アングダーソン(一五)君は七月二十九日を最後にアメリカへ帰国することになった。

ティム君は、昨年四月秋田大学招聘(しやうへい)教授として赴任された文学博士、ジェームス・ブルース・アングダーソン(四四)の次男坊で、キャザドラル高校二年生である。

ティム君と児玉さんの出会いは五月の初めであつた。家族で十和田湖へ行く途中、児玉さんの作品、アメリカンまさかり(タプロ)を見初めたのがミニミニ修業の始まりである。

児玉さんは初めカタコト日本語と、ペラペラ英語で弟子入りを申し込まれたときは当惑し、理解するまで時間を要した。その後、両親と秋大英語第二研究室の三浦順治助教を介し、正式に申し込むほどの熱心さになつて、国際親善に役立てばと腰を上げた。

迷子になつたティム君

ティム君は毎週一回秋田市から自転車を通うほどの熱の入れようであつた。五城目にこのような十五歳の少年がいるのかなあ、児玉さんはアメリカ少年の根性をいたく気に入つてゐた。しかしある日、午前零時ころ、ティム君がまだ家に帰っていないと両親から連絡があつた。迷子になつたのである。七号線で帰るはずが、大潟村、若美町、船越と迷い終着が船川となり警察に保護されてゐた。児玉さんが、深夜動転した気持を抑えて探しあて帰宅したときは、午前三時であつた。

先祖は 船 鍛 冶

ティム君の修業は、焼きを入れてたたき上げるだけであつたが、くぎ、たまくら、包丁、登山刀の順で学んだ。大学ノートに作業工程がビッシリ書き込まれてゐた。ティム君の先祖は船鍛冶であつた。ミネソタを根城に、ミシガン湖シカゴ、スウェーデンまで足を延ばした。ミネソタの冬は厳しく、零下四五度を記録し、雪も深い。オークとかバインなどの森林地帯でもあると言つた。

児玉さんはおみやげに、アメリカンまさかりと登山刀、けずりナイフを贈つた。ティム君は目を丸くし、ほおを染めて信じられないといつた身振りで「オー」「オー」と感嘆詞を連発した。「秋田市もよいが、五城目ももっと好きだ、鍛冶があるから」「児玉さんは職人でなく、芸術家だ」貴重な体験と、濃密な思い出を胸に、十五歳の少年はミネソタシティに去つて行つた。

「岡本二区」町政を聞く会

良次）「町政を聞く会」を同公民館で行った。当日は、町内会員四十人ほど集まり、町長、

スペースの関係で、その概要だけを紹介する。

発だとする考え方から、今日は役以下都合のつく最高幹部を同席した。実際の担当者の答弁が、の答弁よりもみなさんに信頼いただけるのではないかと思つてのことである。

私、十六年（通算四期）を終ろうとしているが、町の仕事は、日本の中の秋田、秋田の中の五城目という全体的な視野の中で考えていくべきだと思ってやってきたつもりだ。土曜の三頁は、

ご支援と協力に感謝

具体的には、最初の一期は住宅や道路、運動場などの用地を先行取得を方針として今日に至っている。

二期目以降は、計画（長期）の肉付けに専念してきた。この肉付

けも、国や県の補助その他の補助など、ほとんど補助事業にのせて仕事を進めてきたつもりである。

都市改造

この町は合

この町は合
併して新しく
で、きた町な
ので町部と山

村部の施設がアンバランスにならないよう取り組んできたが、まだ足りない問題も沢山ある。し

におはからいしたところ、ご了承を得たので、間もなく建設にかかろうとしているところである。今年度は、警察署と保健所も建つので、役場周辺に諸官庁がほぼ集中するわけで、他町村にも誇れる都市改造ができるものと思う。

一步でも半歩でも

前進させたい



かしどうにか役場を造ってもよろしいだろうという気風にまでなっていただき、今年度から三カ年計画を持つ段階まで到達している。

ご承知のように、現在の役場は中学校（旧五中）跡を使用しているが、せまいところに大人数が入っているため衛生的な面や、傾いてきている点など考え合せて議会

当地域にかかわる問題は、種々からこちらへ今年中に林道で道路を付けてもらいう承を得ているので、解決できると思っている。またこの前を通っている道路など、地元町議からいろいろ要望を受けているので、今日のような機会を捉えて、一歩でも半歩でも前進できるような様からお力添えいた

佐藤企画部長：現在建っている家の状態や傾斜地を考えるとロスが多くて区画整理事業は難しい。賠償方式がよいのではないかと思ふ。

渡部産業建設部長：現場を視てむ

隣の井川町では十年前からバスの運行しているが、現在は住民から全面廃止の声が大きくなっている。その理由は、子ども足腰が非常にひよわになったこと、流行性の病気にかかりやすい、路上での交通規則を全く知らない子どもが多くでる、湖東部の体育大会では下位の成績などいろんな現象

工藤秘書課長：境界の整理は、両町の同意と議会の議決が必要なので、簡単には進まないといっている。当面の方策としては、両町立合いの上境界石を立て、現状を明らかにするのが第一だろうと思う。

八郎潟分の岡本下台、野田下台地内には二十七戸あり、面積はおおよそ十六㌥で、八郎潟町にくい込んでいる石崎地内には、戸数五戸、面積おおよそ十三㌥になっているので、これを交換するのも一つの方法であると思う。

業は、補助事業で本格的に取り組みたい、これが県の意向である。

質：保育園と幼稚園児が野田、浦横町も含めて四十一人いるが、スクールバスの運行は考えてないのか

佐藤企画部長：野田部落からの陳情を議会で採択し、継続審議していたが、議会改選で陳情はまた改めて提出しなければならなかったためそれを受けてからのことになると思う。

交通教育と本力の向上に

島山国土調査係長：昨年の町内会長同協力員会議でご要望があったので、昨年七月小玉総務部長と八郎潟町の総務部長が事務的な協議をしている。この地域以外にもさくそうしているところがあるので八郎潟町自体でも現地調査をして再度協議することになっているがその後全く進展をみておらない。

館岡住民課長：町としてはバスの運行計画を現在持つておらない。その理由は、中央交通のバスを利用できる地域であること、バス停までの若干の距離を、子どもは通教育と体力向上に役立てるネライをもっているためである。

全面廃止の声も高い

全面廃止の声も高い

が表われてきたからで、現在はごく遠方の生徒だけ利用しており、それも学校前二キロの所に下車させて歩かせている実状である。

質：ごみ処理場に対して町では今後どのような計画をもっているのか。

いろいろな方法を真剣に

伊藤助役：ごみ処理場についてはみなさんから温かいご支援を得て厚生省や県の厚生部長へ最後まで建設しようとして掛け合ったが、結果的には残念ながらできなかった。これは、反対陳情が処理されていいために、国の補助を受けることができなかったわけである。五城目では自力で建てただけの力はない。処理場は沢山の補助をもらえらる仕事なので、ぜひ補助対象で建てたいと思っている。

今後のことについては、六月の定例議会でも町長は次のように述べている「なんとかなければいけないのだが、建設の場所については、岡本も含めて全町的に探したい」従って町の現在の姿勢はこの考え方に尽きると思っているし、私たちは別途に何かよい方法がないのか真剣に考えている。

岡本地区の発展について千田会長からご発言があったが、当地区は今が最高のチャンスだと思ふ。大改造を行っている磯ノ目、矢場崎、役場、病院など射程距離にあり、道路整備をあれ考えると生活の利便さを最も受ける地区の一つになり得ると思っている。

質：面湯地区には現在運動施設がない。役場側でその計画を持っているやに聞いているが、実際はどうなのだろうか。

渡部産建部長：採石場跡地のところだと思ふが、農村整備モデル事業で農村公園の計画を持っている。まだ設計もできておらない状態なので、着手するときはみなさんよく話し合いながら、構想を練っていきたいと思っている。

質：今ごみ処理場の問題をかかえているが、あそこへ公害のない立派な施設ができた場合、環境整備の上四部落で使用できるような運動場ができないか、できるとすれば一石二鳥の成果があるので、その可能性についておたずねしたい。

杉沢部落

道路整備など意見交換

杉沢部落(会長石川誠一郎)の「町政を聞く会」は、七月二十日午後三時から同部落の公民館で行われた。

町当局からは加賀谷町長はじめ伊藤助役、工藤町長室長心得、石井建設部長心得、伊藤管財課長、千田主査が列席し、集まった約五十人の杉沢のみなさんと、道路整備などの問題について意見を交換した。会を始めるにあたり、石川会長のあいさつがあり、その中で次のように語った。

「杉沢はこのように辺りな所であるが、発電所、営林署担当区、学校、診療所があり、周囲は恵まれている。このような恵まれた環境は、五城目の中でも数少ないと思う。このような面から、町に迷惑をかけていることもあると思うが、反面町当局では見逃せない地

対して要望していただければ幸いです。最後に、役場庁舎建設について理解と支援をお願いした。

この後、石川美喜夫さんの司会で町当局と意見交換を行ったが、その概要は次のとおりである。

農村総合整備モデル事業の道路整備について

質：今質問された内容のものはできると思うが、この発言がまた、町当局の条件提示と誤解されても困るので重ねて言うが、あくまでも質問に対する仮定の話しであることをご承知おきいただきたい。

(司会・村上実さん)

千田主査：今年度(五十五年度)分は、二〇〇万ではなく二五〇万であり、八月中に発注する手はずになっている。五十六年度はその残りを、五十七年度までに恋の方面からの通学路入口までの改良および舗装を終らせたい。しかし、貯木場付近の整備については今後、部落、教育委員会、営林署などと十分協議する。

質：どの程度の工事になるかわからないが、農作業に支障をきたすことのないようにしてもらいたい。今度はこちら(杉沢)が玄関になりかねないと思う」と述べた。

また過疎問題にふれながら、次のように語った。

「町でも今後いろいろな対策を進めていくが、この地域を被害者意識で見ないで、やればできるんだという意欲を持つ、あるいは杉沢のよい点を見つけそれを伸ばしていくような考え方、気持ちになることが前提になるのではないかと考えている。私もおおよそながら、そのような点に関して素直に意見をいわせていただきたいと思うし、みなさんからも素直に町に

対して要望していただければ幸いです。最後に、役場庁舎建設について理解と支援をお願いした。

この後、石川美喜夫さんの司会で町当局と意見交換を行ったが、その概要は次のとおりである。

で、ただちに増設を完了している。現在、杉沢部落内の街灯数は二十一燈で全部水銀燈である。

七カ所に設置を要望しているが年間の街灯設置個数は、当初予算で決められているので、一度に七燈つけることは非常に困難なことである。何年間に分割して取り付けていくことになると思うが、極力要望にそいたい。

申請書と街灯設置場所の簡単な見取り図を管財課の方へ提出してほしい。

部落内の県道側溝について

質：部落内の県道は、ほとんど悪い状態である。とくに側溝は、雨が降ると上に土が流れてきてほとんどどろどろになっている。のふたがあかず、手がつけられない。またふたがこわれている所もあり危険である。

石井部長心得：以前、県の担当者が県道を見に来たとき、側溝も悪いということを見ていた。この道路は、部落に入る前後はいろいろ改良されてきている。部落内については、なにかの事業で改良しようという計画もあるわけ、県の方ではなんとか間にあわせてくれるというところであった。しかし、道路状態はそうとう悪いようなので側溝の件とあわせて、県へ要望していく。

問：県道側溝からの排水は、農業用水路へと流れているが、直接川へ排水できるようにしてほしい。

石井部長心得：これも現地をよく調査して県へ強く要望していきたい。

質：部落内の道路整備について

とになっているが、これにひきついて、部落内の道路を整備して、十分に除雪できるようにしてほしい。

石井部長心得：部落内の道路整備については、どの地区からも要望されているが、それに一挙に應えることはできないので、町では長期計画をたて、幹線からということにしている。モデル事業が終了から支線を考えているので、少しの間辛抱してほしい。

水沢・北ノ又間の県道の状況について

質：北ノ又へはどのような年次計画で改良していくのか、将来の見通しについてお聞きしたい。

石井部長心得：現在さかんに工事を進めており、残っているところは水沢から恋地までの間、杉沢部落、落合から北ノ又までの間である。

水沢、恋地間については、二年ほど前に測量調査をして、計画の段階に入っており、近いうちにその方向がでくると思う。

恋地のバイパスは、二・三年でできることになる。

落合から北ノ又については、高瀬橋・落合橋間八〇〇メートルは一部舗装まで完成している。残る四五〇メートルは今年度改良工事完成をめざして工事中であり、五十六年度までには舗装を終ることになっている。落合・北ノ又間については、県の方で検討しているもので、近いうちに調査に来ることになると思う。

質：北ノ又から秋田までの林道が決壊して、通行できないようになっている。

石井部長心得：この件についてはこの間管林局と話し合っており、通行できるように土砂をとりのぞくという回答をいただいている。

質：秋田・八郎湯間（馬場目を通って秋田市へぬける）の道路整備は積雪寒冷地域道路整備事業（雪寒事業）で行うと聞いているがどうか。

入通沢線（富津内落合から窓地に通ずる道路）も早く整備してほしい。

石井部長心得：積雪寒冷地域道路整備事業（雪寒事業）で行っているのは、水沢から落合間の容易に道路拡充のできる部分であり、その外は改良事業で行うことになる。

入通沢線（富津内落合から千日までは、一応完成している。千日から窓地までは、町が事業主体になってかかっている。一応五カ年という計画で、今年度は用地の買収を行っている。

杉沢小・中学校の新築について

質：小学校が新築されると聞いているが、地元ではできるだけ小中合同で行きたいという意見もあり町の計画を聞きたい。

助役：中学校は統合した方が、教育上効果がある。小学校の場合、やはり親元の手においた方がよいというのが基本的な考え方である。

大川中学校の統合の場合もいろいろ問題があったが、何度も話し合った結果、統合した方が、教育上、自分の子どもの為がいいという結論に達して統合、成果をあげている。

この件については、みなさんと

腹をわって話し合っていきたいと思っている。また、教育委員会の方からもみなさんの所へ足を運んでもらって話を進め、最終結論をだしたいと思う。

質：中学校を統合した場合、通学体系はどのようになるのか。

奥部地区（若者）の雇用確保について

質：杉沢もだいぶ過疎化が進んでいる。なんとか過疎化をくい止める方法を考えなければならぬと思う。

千田主査：この問題は、五城目町だけではなく秋田県全体の問題である。町でも数年前から企業の誘



町長・助役も列席して部落の要望を聞いた
手前から千田主査・町長室長心得・管財課長・町長・助役・建設部長心得

したかどうかと考える。また、道路がよくなれば、通学も今ほどめんどうではなくなると思う。

私が申しあげたいのは、統合した結果、大川でも内川でも非常な成果をあげているということである。先生の配置も、複式学級で二

学級などを兼ねることは、教育上正常な姿ではないと思う。

致、地場産業の振興に力を入れていく。林業関係でもあらゆる事業をとり入れて、農林業の振興を図りながら雇用を確保する形で進めていく。

農協さんの方へもお願いし、大豆の加工を今年からはじめた。五城目の場合は幸い木材の町でもあるし、以前からの地場産業をもち

上げると同時に、農林産物を加工するような地域的な産業をもりたてて、雇用の促進を図る方法も考えられる。来年からすぐに歯止めになるというふうにはいかないの、県全体の方向と合せながら進めていく。

県の方では、秋田湾開発計画という広大な構想を持っており、ある程度事業が進行するようになると、周囲の町でも雇用の要素が変ってくると思う。

発電所周辺の公園化

質：杉沢仙入峡園地には、他町村からもキャンプやつりに来る人が多いので、もう少し大きくしてもらえないか。

千田主査：仙入峡園地は、五十三年からキャンプ場として、炊事場便所、休憩所、駐車場などを整備しているが、国の土地であるのであれ以上はどうしようもないと思う。ただ、発電所へ行ける散策路的なものはできると思う。

みなさんが要望するのであれば、営林署の方へお願いして、なにかの事業に乗せていきたい。

質：発電所の貯水槽のまわりは、場所も見晴しもよい。資材運搬の道路も残っているで利用してはどうか。

千田主査：現地を調査してみる。土地は町のものではないので、すぐには無理かもしれないが、それなりに計画を進めるよう考えていきたい。

8月13・14日

窓口事務は平常どおり

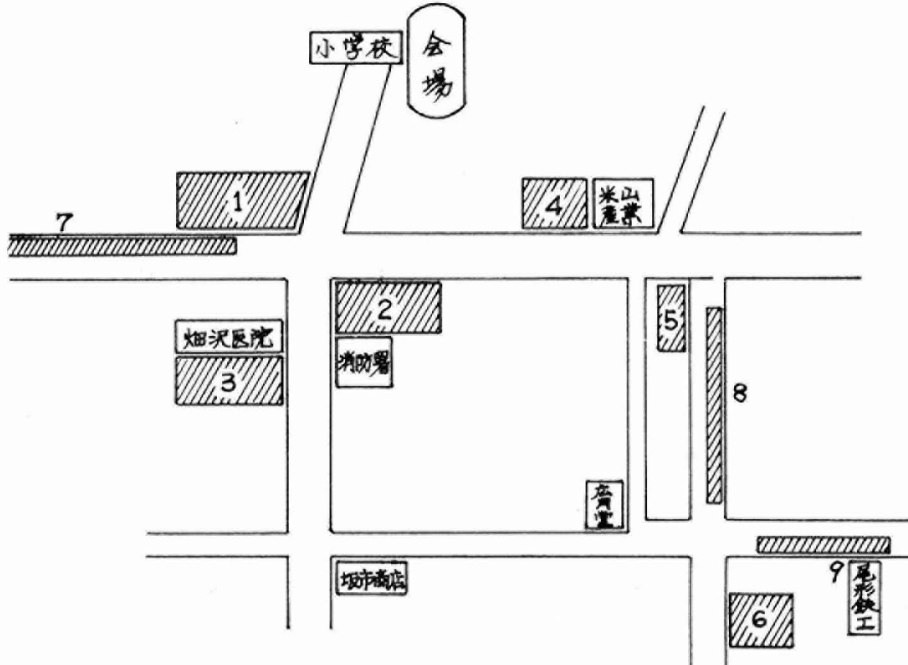
お盆の間の窓口事務（住民課、出納室、大川出張所）は平常どおり行います。

こどもの祭典 臨時駐車場

第十回五城目町子どもの祭典は八月七日午後四時から五城目小学校グラウンドで行われます。町では、そのための駐車場として、会場近くの九カ所を確保しました。しかし、収容台数に限りがあり、ますので、本町部の方は車の利用をできるだけ控えるようにしてください。

- ①五城目グリーンボール跡地
- ②渡部悦郎氏所有駐車場
- ③畑沢医院駐車場
- ④米山産業川儀駐車場
- ⑤猿田昭夫氏所有駐車場
- ⑥サーモエレメント跡地
- ⑦山手線片側
- ⑧中学校道路片側
- ⑨上田町道路片側

また、当日駐車場係員が整理にあたりますので、ご協力をお願いします。駐車場は次のとおりです。



昭和55年度

新成人を祝う

若人たちのつどい
(成人式)

“ふるさと”について理解を深めよう



とき 昭和55年8月15日 (金)

ところ { ふるさとめぐり (貸切りバスで町内の名所、旧跡、施設を見学)
式 典 (広域体育館)

第1受付 午前8時30分～午前9時10分 (広域体育館2階エントラス)

○新成人及びふるさとめぐりに参加する来賓、父兄

第2受付 午前10時30分～午前11時20分 (広域体育館1階職員玄関)

○式典のみに参加する来賓、父兄

つどい { ふるさとめぐり 午前9時30分～午前11時20分 (町内)
式 典 午前11時30分～12時55分 (広域体育館)

主催 五 城 目 町 主管 五城目町教育委員会

「新成人を祝う若人たちのつどい」へのご案内

あたらしく成人になられますことを心からお喜び申しあげます。

さぞかし、明るい希望と人生への期待に胸をふくらませておられることと思います。

りっぱに成長されたあなたの“はたち”の門出を祝うとともに、社会人としてさらに活躍されることを願い、このたび下記により「新成人を祝う若人たちのつどい（成人式）」を開催することになりました。

お暑い折ではございますが、ぜひ出席くださいますようご案内申しあげます。また、ご父兄をはじめ町民多数の出席をご期待申しあげます。

記

- 1、期 日 昭和55年8月15日（金）
- 2、受付時間
 - 第1受付 午前8時30分～午前9時10分（広域体育館2階エントラス）
○「新成人及びふるさとめぐり」に参加する来賓、父兄
 - 第2受付 午前10時30分～午前11時20分（広域体育館1階職員玄関）
○「式典」のみに参加する来賓、父兄
- 3、つどいの時間及び会場

{	○ふるさとめぐり 午前9時20分～午前11時20分 （貸切りバスで町内の名所、旧跡、施設を見学）
	○式典 午前11時30分～12時55分（広域体育館）
- 4、新成人該当者 昭和35年4月2日～昭和36年4月1日までに生まれた方で、五城目町に住民登録している方。
- 5、連絡事項
 - ①受付時間におくれないようにしておいでください。
 - ②服装はできるだけ身軽なものがよいと思います。
 - ③本町に住民登録をしていなくとも本町出身で町外に出ている方で出席希望される方は7月25日まで申し出てくださることにしていましたが、まだ申し込みしていない方はすぐ五城目町公民館（電話番号 01885-2-4411）へお申し込みください。
 - ④ごめんでもできたら成人は各自上履をご持参ください。

これをもって新成人へのご案内といたします。

昭和55年8月1日

五城目町長 加賀谷 力 司



昭和55年度新成人
町 民 各位

日赤社員数 三千七百件

社費実績 百五十三万円

日本赤十字社では、五月一日から一カ月間、全国一斉に「赤十字社員増強運動」を行い、新社員の加入を呼びかけましたが、当町においても多数の人たちの協力が得られ、六月二十七日、次のとおり完了しました。

▽五十五年度日赤社費実績

・実績額 一、五三一、四九二円
・社員数 三、七〇〇件

●内訳

・三百円以上社費 一、二七五、二二二円
（三、二八三件）
・五百円以上社費 一九九、二七〇円
（三八六件）

・千円以上社費 二六、〇〇〇円
（二五件）

・三千円以上社費 二一、〇〇〇円
（五件）

・一万円以上社費 一〇、〇〇〇円
（一件）

●寄付金 一、〇五〇円
（五件）

日本赤十字社は、世界百二十六カ国の赤十字と手をつなぎ、国内外で活発な活動を続けています。五十五年度も長期展望に基づき各種の奉仕活動をすすめて、赤十字

事業の充実発展に努めるとしています。全国の社員から集められた社費は、この活動の重要な資金となります。

職業訓練指導員試験

受験申請書受付は11日から県では九月に、職業訓練指導員になろうとする人のための資格試験を行います。その受験申請書類を八月十一日から、県産業労働部職業訓練課で受け付けます。

試験科目

洋裁科、自動車整備科
建築科、板金科、木工科
受験申請書交付場所
秋田県職業訓練課
秋田市山王四丁目一―一
秋田県総合職業訓練センター
秋田市新屋町字砂奴寄一
申請書類提出先・問合せ先
秋田県職業訓練課
☎0188(60)1733

警察署長さん

PTAで講話



中学生と夏休みについて語る署長さん

五城目警察署の署長さんが、五城目第一中学校PTAの会合で、「中学生と夏休み」と題して講話を行いました。集った約二百人の父兄に喜ばれた。これは、夏休みをひかえて、父兄たちが現場で責任ある立場の署長さんから、非行についての生の声を聞いてもらおうと行われたものである。署長さんは、仕事上の豊富な実例を示しながら、自分の小さいころの体験や、

わたしの教員生活 ②

体操場のない学校

体操場のない私たちは、体操の時間には天気によれば、ほとんど屋外授業であった。玄関前の空地、校舎南側の空地を利用した。しかし、どちらも教室の窓下で



授業の支障も多く、ほとんど公園のグラウンドで体操の授業をしたものである。そのグラウンドは一周二〇〇メートルのトラックがあり、北側と東側には階段状の観覧席、南側は雑木林の谷間、そして西側は三〇メートルの断崖と言いう悪い条件の場所であった。

当時体操の時間は体操器具がほとんどなく、徒手体操と走巾飛びドッジボール、相撲等が主な運動種目で、特にドッジボールは子どもたちに喜ばれる種目であったので、その方に多くの時間を取ったところがグラウンドでこの運動をやると、谷間のボールを探すのに全員が十分も十五分も時間を費やすことがたびたびであった。

昭和四年七月のある日、五年男組担任の私は、体操の時間をグラウンドで行う計画をたてたが、当日はあいにく、全村消防団の訓練があったので、運動場を変更して、一段高い南側の三吉神社境内の広場で体操をすることにした。途中グラウンドを通らず近道から神社の境内に行き、楽しい一時間の授業を終って帰路についた。帰りも

またグラウンドをさけて、近道から学校へ帰るように堅く注意し、わたしが列の中ほどになって隊を整えて帰った。四時間目の授業の鐘が鳴って教室に行ったら「伊藤Y君がおらない」とだれかが言った。「どこへ行ったら」と聞いていたら「Y君は運動場から来る途中に消防の演習を見に行った」と言ったので「あんなに注意したのに」と言っ

が道路へうつ伏したままである。わたしはひやりとして心臓が止ったかのように立ちすくんだ。気をとりもどして外へ飛び出しY君の所に走った。運転手の佐々木はY君を抱き起していた。Y君はすすり泣きの体でその自動車で神田医院に運ばれ、診察の結果顔にかなり傷を負っただけで他に異常がなかった。不幸中の幸いと皆がほっとした。私の生涯忘れ

生涯忘れ得ぬ交通事故

中村清次郎



ぬ事故である。これも体操場のない学校に勤務した、私の運命である。

(写真)

昭和4年当時の

飯田川尋常高等小学校

てるうちに「あつて来た」と一人の子どもが公園の石段を指した。教室は玄関わきで道路の方がよく見えたので、全員総立ちになって見ていると、授業時間に遅れたことに気がついた彼は、急いで石段を降りて道路に出た。ちょうどそのとき五城目、大久保間の田口乗り合い自動車が一瞬Y君を引き倒して一〇メートル先へ止った。Y君

貴重な水を大切に

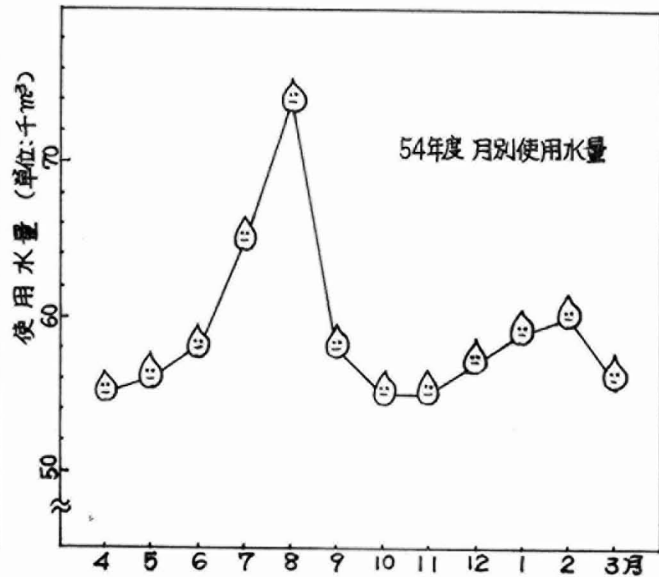
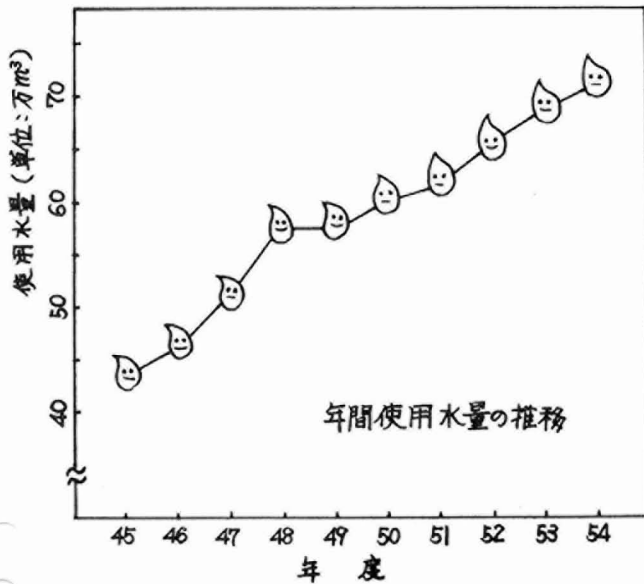
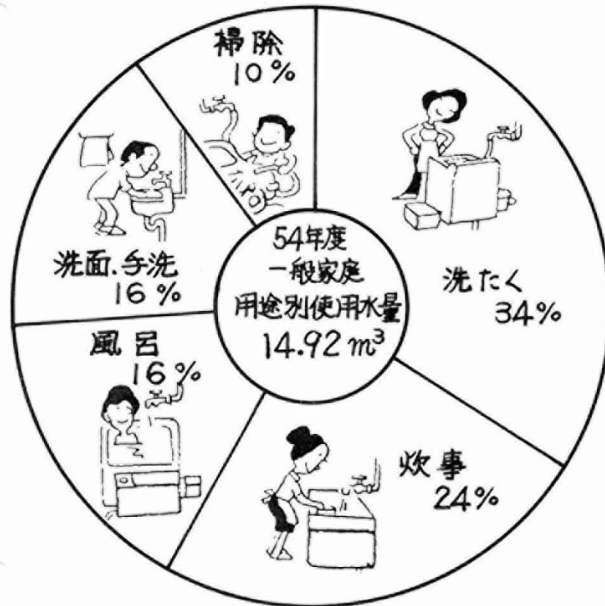
使用量は八月が多い

人間は水のもつさまざまな性質を利用して、その恩恵をうけて生活しています。炊事、洗たくなどの日常生活においてはもちろん、農作物、工業製品を生産するために、さらに水力発電、観光、レクリエーション、水運などいろいろな面で重要な役割りを果たしています。

しかし、この大切な水は決して無尽蔵ではありません。わが国は雨がふり、水が豊富と思われがちですが、狭い国土に多くの人口を抱えているため、人口一人当たりの降水量は、世界平均の約五分の一です。しかもわが国の河川は流路が短かく、勾(こう)配も急であるため、降った雨は短時間で海に流れ出てしまいます。また季節によって、年によって、河川の流量が大きく変動するため水利利用のうえからは非常に利用しにくい河川になっています。

一方、水の使用量は、生活水準の向上に伴い飛躍的に増加しています。町の上水道使用量も例外でなく、五十四年度は十年前の二倍近い使用量となつています。今後、水需要はますます増えることが予想されます。

ふだん私たちは水を無意識のうちにはふんだんに使っていますが、水は決して無尽蔵なものではなく、きわめて貴重な資源です。これから暑くなると、水の使用量がふえます。町の場合、年間の月別使用量は、八月が圧倒的に多くなつていきます。



また、一般家庭の用途別使用量は洗たくが全使用量の三分の一を占め、それに炊事の分を合せると全体の半分以上にもなります。各家庭で工夫して貴重な水をさらに大切に使うようにしてください。

つつが虫無差別発生

十分の注意を

今年に入ってから県北部を中心に、つつが虫病患者が多発しており、特に七月十日現在で死亡者がでている。今後ますます増加する傾向にあるので、次の点に十分に留意して、つつがをなく暮らしたい。

政治を学ぶ若者のついで
一 申し込みは選挙管理委員会
二 対象 十八歳から二十五歳までの男女。
三 内容 講演、時事説明、分散会、全体会、討議、レクリエーション
四 期日と場所 八月二十九日～三十一日 秋田県青年の家
五 申込方法など 申込期限 八月十六日
六 その他 申し込みや詳しいことについては、町の選挙管理委員会の方へおたずねください。

① 十一月ころまで草ムラに入る場合には、ダニ忌避剤を衣服とでている皮フの表面に散布または塗りつけることと、ゴム長くつやゴム手袋を身につけること。
② 草ムラで作業等をした場合は家に帰ってから、必ず風呂に入り着替えること。
※ 刺された場合は、皮フを逆なでしたときトゲのようなものによる刺傷感があること。脱いだ衣服は熱湯(六〇度以上)か、日光消毒すること。

③ 川原に直接すわったり、釣竿をおいたりしないこと。
④ 体の局部に異常な痛みを感じまたは高熱、発疹などの自覚症状が

自衛隊父兄会総会開く

自衛隊父兄会五城目支部 支部長 佐々木 憲 夫

自衛隊父兄会五城目支部では、六月三十日町民センターにおいて定期総会を開き、五十四年度事業報告決算報告のあと、五十五年度の事業計画と予算案を審議して原案どおり可決した。

今回の総会はソ連のアフガン侵攻以来国民の間に「防衛について」の関心が高まりつつある時期であり、来賓として出席された狩野地方連絡部長、伊藤助役の挨拶にも

でた場合は、直ちに医師の診察を受けること。
この場合、山林、原野、川原にいつ、どのようなことで行ったのか、その状態を具体的に医師に話すこと。

よくふんばった五小ナイン

二年連続三度目の優勝

—全県大会 八月十四日から—

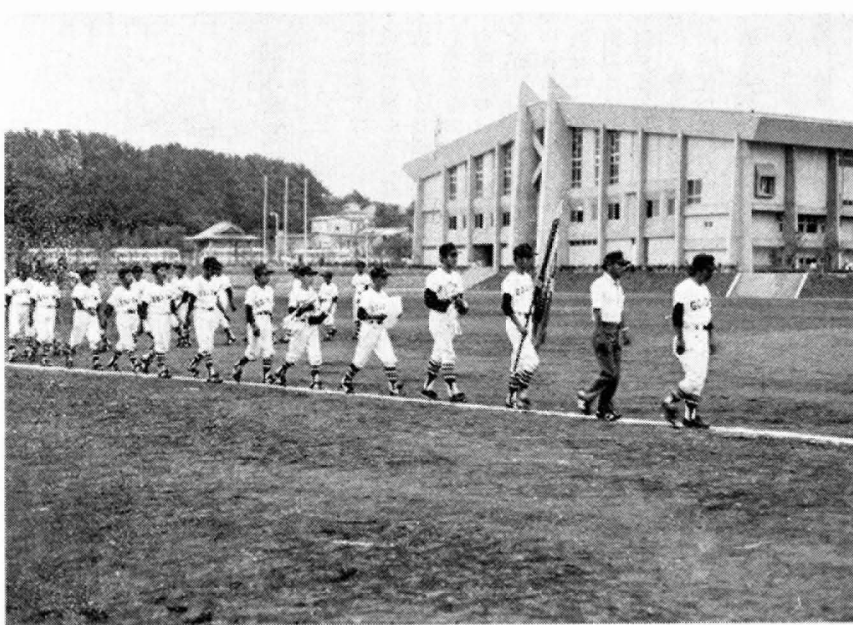
七月十一日から十四日まで、五小の野球場と運動公園広場を会場に、第九回南秋田郡学童野球大会が行われ、五小小学校が二年連続三度目の優勝を果たした。

五小最終回命拾い

決勝戦(延長九回)

五小 0 0 0 0 0 0 0 0 1
八小 0 0 0 0 0 0 0 0 0

決勝戦も最終の七回裏、二死ラ一、三度目のサヨナラ場面を迎えた。バッター七番、佐藤投手の好球をハッシとたく、地をはうようなゴロで一塁を抜きライトに達する。だれしも八小のサヨナラ勝ちと思った。八小応援団の歓喜のどよめきと、五小応援団の沈黙が球場の明暗を分けたそのしゅん間



優勝旗の重さをかみしめダイヤモンドを一周



シャープなバッティングの荒川君

した長い長い試合は終った。

佐藤投手を
中軸に守り切る

決勝戦にふさわしいすばらしい試合であった。コーナークをいていねいにつく五小の佐藤、ダイナミックな投球をする八小の桜庭ともに好投手で小学生の域を越える投手戦を展開した。

球審は一塁走者のアウトを宣し、延長戦を告げた。

五小ライトの小林が一塁走者を刺したのである。首の皮一枚で息を吹き返した五小応援団の歓声、球場の明暗は逆転した。

菊地選手好走決勝点をあげる

八回裏裏両チームとも三者凡退延長戦もいよいよ最終回を迎えたこの回トップの六番菊地が、好投の桜庭から右中間二塁打をうばう。続く七番一関が投手横にうまいバント、相手捕手があわててこれを追いかけている間に、二塁走者の菊地は好走塁、好判断で一挙にホームを落し入れた。この貴重な一点が結局決勝点となった。

九回裏、一点を追う立場に立たされた八小は、打順よく二番工藤からであった。が、四球で出塁した工藤は、三番の三塁ゴロで二封、期待された四番桜庭は捕邪飛であえなく倒れ、五番三塁ゴロで万事休す。選手や応援団にとって緊迫

ともノーエラーを記録した。が、しかし、胃がキリキリ痛むような場面もあった。

四回裏センターを襲った大きなフライは、抜かれたかと思わせたが、一関選手は懸命に背走ガッツリと受けとめた。

六回裏走者を一人置いて、ライト線のきわどいフライ、七回裏のライトゴロを処理して無得点に貢献した小林選手、トップバッターの荒川選手、確かでシャープなバットイングは相手応援団をうならせた。外野はともに選りすぐったようなチビッ子選手であった。だから彼らの動きがひととき目を引いたのかも知れない。

注文がある元気がない

全県大会は、八月十四日から始まる。この一戦に命を燃やして頑張っている。

注文がある。総じて選手たちに元気がない。内野はもっと投手に声をかけてはどうだろうか。球場

に鳴り渡る選手たちの声を期待したい。応援団は練習不足であったのだろうか。他校と比較するには無理があるようだ。

はなやかでなくともいい。選手たちの意気を鼓舞する元氣と工夫がほしい。頑張れ五小ナイン

~~~~~

屋内温水プール

夏休み期間は

午前も泳げます

七月二十九日から屋内温水プールの使用時間が次のようになり、午前中でも泳げるようになります。これは、夏休み期間に町内のみなさんから大いに利用してもらおうというものです。

▽期間 7月29日～8月20日

▽使用時間

日・火・木・金・土曜日

午前10時～午後4時45分

水曜日 午前10時～午後8時

月曜日 休み

下町で旧町内盆踊り

8月14日・15日

「旧町内盆踊り大会」が八月十四日、十五日、下町通りで行われます。これは五小青年会が主催するもので「全町盆踊り大会」とは別に行われるものです。

「全町盆踊り大会」は八月二十六日、二十七日、山手線けやき通りで行われる予定です。

大会の内容は次のとおりです。

・日時 8月14日・15日  
午後7時30分～10時  
・場所 下町通り

・種目  
8月14日 一般個人、一般団体  
8月15日 一般個人、一般団体  
町内対抗  
・参加受付  
当日、長源デパート前で午後8時まで受付ける。

県立子ども博物館

気軽に利用してください

二年の歳月、十五億五千万円を費して完成した「子ども博物館」が、秋田市山王大通りの一角にオープンして二カ月になりました。すでに二万五千人ほどの来館者を数えています。

幼稚園、小学校の遠足のコースに組み入れられただけでなく、休日は家族づれで混雑するようになりました。

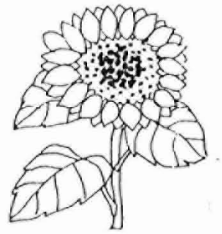
「子ども博物館」は、入口で見学カード(団体は団体受付簿)に記入してポストに入れるだけで、だれでも無料で利用できます。

見学には特別にコースはありません。自分で見たい所に行き、展示資料を自分で動かして見るといふ、主体的な学習ができるようになっています。

第一展示室は「地球は生きています」というテーマ展示で、プラネタリウムで星の世界に遊ぶこともできます。第二展示室は、電気、音、光、エネルギーなどについて展示してあり、マイコンでゲームも楽しめます。いろいろな教室もあり、いつでも利用できるようになっています。

開館の時間は次のとおりです。月曜日は休館です。

▽3月～10月 9時～17時  
▽11月～2月 9時～16時30分



## 【おしらせ】

## 個人事業税の納税は

お済みですか

秋田県では、健康で暮しよい環境づくり・活力ある地域経済の確立・心豊かな県民性の創造を三本の柱に行政を進めておりますが、みな様の納める税金が生かされております。

八月は、個人事業税（第一期）の納期です。お手元に納税通知書が届きましたら、八月三十一日までに、最寄りの金融機関などへ早めに納付しましょう。

## ◇納付場所

銀行、信用金庫、信用組合、郵便局、農協など。または秋田県税

## 省エネの標語を募集

省資源省エネルギー秋田県推進会議では、石油や電気などエネルギーを大切にすることを育てるための標語とポスターを募集しています。

入賞者の発表は、十月上旬の予定です。

応募規定は次のとおりです。

## ①応募資格

小学校高学年の児童（四～六年生）、中学校の生徒

②募集締切日 9月13日

## 事務所

なお、ご不明の点は、秋田県税事務所へおたずねください。

課税課 電話 〇八六〇—二二二二  
納税課 電話 〇八六〇—二二三三  
秋田県税事務所

## 聴覚（耳）障害者巡回相談

聴覚（耳）障害者の巡回相談を次のとおり行います。

①日時 8月19日（火）

午前10時～午後2時

②場所 町民センター 二階

「いずみ」

## ③相談事項

・手帳交付（等級変更含む）に関すること。

・補装具の交付（修理）に関すること。

・その他

・身体障害者手帳をもっているかたは、手帳を持参してください。

## 警察官採用試験

受験申込みは8月30日まで

七月一日から、五十五年秋田県警察官採用試験の受験申込みを警察署で受付けています。

採用予定人員は約六十人で、九月七日（日）に第一次試験が行われます。

募集要領は次のとおりですが、詳しいことは「秋田県警察本部警務課任用係 電話 〇一八八（63）1111または五城目警察署（電話 2）4101に問合せください。

・受験資格

十八歳以上二十七歳までの男子

・試験の方法

教養試験（五肢択一）と論文

・受験の手続

申込書は各警察署にあります。必要事項を記入して、警察本部警務課または警察署へ提出してください。

・受付期限 八月三十日

## 善意銀行

・六月十日

三千円 昭辰町 加賀谷力司

（拾得物の謝礼を寄附したもの）

・六月十三日

一万五千円

（株）アパレルマルサイ

秋田市山王四丁目一〇一

秋田県企画調整部

消費生活課内

電話 〇一八八（60）1212

④作品の条件

・ポスターの色数は自由、大きさはB3判（画用紙四ツ切大）

・標語は原稿用紙などにまとめ、作品の下に学校、学年、氏名（ふりがな）、性別を必ず書き入れてください。

・作品の内容は、身近な生活に関するものとし、産業に関するものは除きます。

・六月二十四日

三万円 富田 阿部 昭

（亡母セツ様の香典返しとして）

## 夏の防犯運動

7月26日（土）から8月25日（月）まで

## 危険なあそび場での子どもの事故防止



## 性犯罪の防止

美しいあなたへの助言  
夜の一人歩きは危険です



## 金融機関強盗事件の予防

○みんなで監視 すばやい通報  
○不審者を発見したら すぐ110番



## 夏山遭難事故の防止

無理な計画をやめ  
リーダーの注意を守ろう

夏山のシーズンです



## 少年の非行防止

○少年に大きな夢を与えよう  
○放任は不良にそまる赤信号

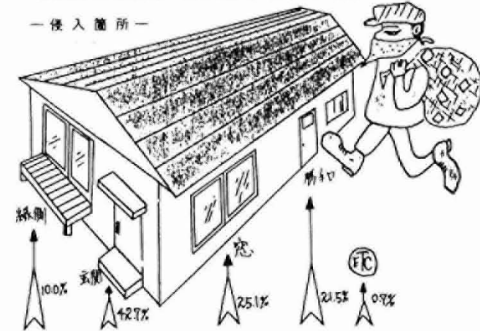
話し合う  
家庭に育つ 明るい子!!



## 窃盗犯の予防

戸締りをしっかり 「カギ」は確実に  
侵入窃盗の侵入箇所・侵入方法（一般住宅の場合）54.1～12

一侵入箇所一



戸締り 身じまり わが家の注意